

# 12月豊橋市議会傍聴記

地方政治クリエイト 伊藤 秀昭

カレンターが変わり師走に。冬将軍が列島を覆った12月1日、定例豊橋市議会一般質問が始まった。

翌日には衆院選が公示になり、慌ただしい中での市政議論となった。

◎プロモーション事業  
山本賢太郎氏(自民)は、5年目に入った「ええじゃないか豊橋推進計画」の

④

進ちよくと成果について質問した。

特に、ナンバープレート封印を三河港に立地する新車整備センターで可能となる規制緩和が実現し、10月20日には第1号の納車式が行われたことから、三河港の輸入自動車産業を活用した戦略的プロモーション事業の強化を強調し、その手順についても持論を展開したが、具体

性があった。

◎マイナンバー制

2年後にスタートする「マイナンバー制度」について取り上げたのは深山周三氏(まちはろーラ

組織の見直しの3点から質問を展開し、「東三河広域連合」が取り組む「社会保障への協働処理事務」についての影響と対応について言及した。

「東三河広域連合」が取り組む「社会保障への協働処理事務」についての影響と対応について言及した。

度

◎再開発事業

渡辺則子氏(市民会議)は、豊橋駅前大通二丁目地区再開発計画が来年3月末を目前に都市計画決定される予定である

報提供し、正月明けに予定されている事業の縦覧期間も、もっと時間をかけて熟議すべきではないかと迫った。

そして、図書館を駅前大通に直結させるための採算性とせめぎ合いの議論は真剣だった。

◎健康遊具  
沢田都史子氏(公明)は公園での健康遊具を活用した健康づくりについて取り

た問題提起だった。

具を管理するハードと、市民の健康づくりのソフトが一体となつて事業推進すべきではないか」と主張は明確だった。

◎地域猫施策

昨年9月施行の殺処分ゼロを目指した「改正動物愛護法」による動物愛護の面から、野良猫問題について取り上げたのは星野隆輝氏(まちはろーラム)。

健康部長は「市が引き取った猫を新しい飼い主に譲渡する事業で3年間で60頭を新しい飼い主へ譲渡した。また不妊去勢手術費用の補助金も用意し、185頭の猫に実施。2008年に469頭だった殺処分も13年度に239頭に減少させることができ、一定の成果があった」とした。

星野氏は地域猫もゼロにすべき地域猫施策のさらなる展開を要請した。

## 明日の豊橋へ、懸命な議論



深山氏は既存システム改修や新規システムの整備状況、制度に関する条例の整備計画、制度導入を契機とした業務や、

そして、経済的に使い勝手が良く、情報交換時の安全性に望まちな図書館づくりのために市と図書館という公共施設が入る再開発事業での公共性の確保と、事業を成り立た

ことを踏まえ、そこで設置される市民待望のまちな図書館づくりのために市と図書館という公共施設が入る再開発事業での公共性の確保と、事業を成り立た

せ、南側の狭間広場につなげる配置案を提案した。

図書館という公共施設が入る再開発事業での公共性の確保と、事業を成り立た

上げた。

「公園を取り巻く環境も大きく様変わりしている。市内には50公園に計142基の健康遊具が設置してある。公園や遊

「公園を取り巻く環境も大きく様変わりしている。市内には50公園に計142基の健康遊具が設置してある。公園や遊